



いずみ

袖ヶ浦学園



CONTENTS

新年度のご挨拶	1
事業所紹介	2
バーベキュー会	3
職員コラム	4
令和4年度事業報告	5～6
新入職員の紹介・ご寄附の御礼・編集後記	7

新年度のご挨拶

「袖ヶ浦学園」は、平成 11 年 11 月に開所し、今年で 23 年目を迎えようとしています。

新型コロナウイルス感染症が流行してから、約 3 年間大事に至らず過ごせてきたのも、地域の皆さま、ご家族、関係機関等多くの皆さまからのご理解・ご協力の賜物と深く感謝しています。

さて、新型コロナウイルス感染症の取り扱いは、令和 5 年 5 月 8 日(月)から「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」から「5類感染症」へと移行しました。この3年間は、多くの制限があり外出の機会がありませんでしたが、早急に以前のように制限を解除することができない状況に苦慮している状況です。

袖ヶ浦学園の入所者様は、20代から70代と幅広い世代の方がいらっしゃり、また、基礎疾患をお持ちの方も多数いらっしゃいます。そのような状況で、全員が満足するように制限の緩和を進めることが難しいこともあります。今後とも皆さまのご意見を踏まえ、少しずつですが以前のような生活に戻していきたいと考えております。

5月には、施設内でバーベキュー会を開催しました。保護者の皆さまにご参加いただき、久しぶりにお見受けする機会となり、利用者の皆さまも喜んでおられました。今後も、何かご希望があればご意見をお聞かせください。また、保護者の皆さまには、令和4年度いずみ会満足度調査へのご協力ありがとうございました。ご回答の1つひとつを参考に、今後も至らないところを改善していきたいと考えております。対面の面会はすでに解禁しておりますので、行事以外のときにでも学園にお越しいただけますと、利用者様にとって有意義な時間になりますのでよろしく願いいたします。

袖ヶ浦学園 管理者 平島 吉隆

「グループホーム絆」は、令和元年11月に開所し今年で5年目を迎えようとしています。今日を迎えることができましたのも、地域の皆さま、ご家族、関係機関等多くの皆さまからのご理解・ご協力の賜物と深く感謝しております。

さて、千葉県の障害者のグループホームを取り巻く環境ですが、ここ1~2年で激変してきています。千葉県障害者グループホーム等支援事業における令和3年度事業白書を見ると、障害者グループホームは、「つくれば入居者が入る」時代が終わり、これからは「障害のある方のニーズに応えられる」本当に必要とされるグループホームでなければ、事業継続が厳しい時代になることを予感させる内容でした。

特に君津圏域(袖ヶ浦市、木更津市、君津市、富津市)では、グループホーム等の数が千葉市、柏市、船橋市を除く各圏域の中で、定員数では961人と松戸圏域の935人を超え、一番多い定員数となっています。また、前年度比でも148人の増加で、これも各圏域の中では一番の増加となっています。この背景には新規事業者の参入があります。社会福祉法人以外でも、NPO法人、医療法人、一般社団法人、株式会社、有限会社、合同会社など、君津圏域のグループホームの名簿を見ても様々な事業者が名を連ねています。

このような状況の中で、「グループホーム絆」はどんなニーズに応えられるのか、どんなサービスが提供できるのか。これからも、一人ひとりの意向を踏まえた支援をおこない、利用者の皆さまが満足して生活していただけるよう努めてまいります。

グループホーム 絆 管理者 高野 啓介

事業所紹介

袖ヶ浦学園



「袖ヶ浦学園」は、平成 11 年 11 月に開所し 23 年経ち、開所した当時の職員は 4 名在籍しており、利用者の皆さまと共に約四半世紀過ごしてきました。

日中活動は、「G メン班」「チャレンジ班」「ステップ班」「ほほえみ班」「にっこり班」に分かれて活動しています。活動の目標は一人ひとりに合った活動内容を模索し共に成長することです。15 年ほど前から自立課題の作成に力を入れ、4 年前に自閉症の利用者様 1 名を法人内のグループホームに送り出すことができました。

今年度は、行事等も少しずつ元に戻していきたいと考えています。バーベキュー会のように利用者の皆さまと保護者の皆さまが交流できる行事を検討しております。その際はぜひご参加ください。

相談支援センター

はる
晴



社会福祉法人として地域に貢献していくことも役割と感じ、平成 28 年 10 月に「相談支援センター 晴」を開設いたしました。早いもので既に 6 年 9 カ月が経過し、地域の方の福祉サービスを調整し、より快適に充実した生活が送れるようにサポートさせていただいております。

「障がい」といっても現在は種別や状態も多岐にわたり、サービスの種類も多く、事業所もどんどん増えている状況です。そのため分からないことや悩むことも多いのですが、事業所のスタッフの方々や近隣の相談支援専門員の方々、市役所の担当者の方々、家族の方々に相談に乗っていただいたり、アドバイスをいただきながら日々業務に励んでおります。

グループホーム 絆



「グループホーム 絆」は令和元年 11 月に開所しました。建物はバリアフリーとなっており、現在 6 名の方が暮らしています。

障害者グループホームとは、地域で暮らしたいという思いを実現するために、必要なサポートを受けながら、数人の仲間と一緒に暮らす「住まい」です。

本ホームでは、家庭的な雰囲気でもらせる住まいであることを大切にしています。家事援助や日常生活での相談を受ける世話人、食事や入浴、トイレなどの支援をおこなう生活支援員がおり、日常生活上の援助を受けながら共同生活を送ることができます。

入所者の方々は、日中は袖ヶ浦学園の生活介護に通所していますが、通所先は希望に沿えるよう努めます。

バーベキュー会

5月26日(金)、バーベキュー会を開催しました。

コロナウイルスが5類感染症となり世間でも行動制限が大きく緩和されたことを受け、以前より利用者の皆さまからご要望があったため開催に至りました。事前会議では「屋外で実施したい」、「利用者の皆さまが楽しめるようなゲームがしたい」、「お腹いっぱい食べていただきたい」、「色々なメニューがあるようにしたい」等、様々な考えや意見が出ていました。

ここ数年は、コロナ禍により面会の機会が制限されていましたが、保護者の皆さまにもご参加いただくことができました。同日に日中活動参観もおこない、活動の様子を見ていただくこともできました。

当日は天候に恵まれ、焼肉、焼きそば、ホットドック、焼きおにぎり、フライドポテト、プリン、かき氷など、様々なメニューを提供しました。

今回、バーベキュー会を通じて利用者の皆さまの良い表情をたくさん見ることができました。これから夏、秋、冬と季節毎の行事を楽しんでいただけるよう創意工夫を重ねていくと共に、少しでもよりよい生活のきっかけとなるように努めていきます。

ご参加して下さった保護者の皆さまに改めてお礼申し上げます。今後も行事などの機会を通じて袖ヶ浦学園に足を運んでいただき、利用者の皆さまとご家族と面会していただけたら幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

白井 琢哉

食事風景 ～心ゆくまで食べ放題タイム～



調理風景 ～みんな大好き鉄板焼き～



職員コラム

～ GW の思い出 ～

新年度を迎えあっという間に5月になりました。今年のGWは最大9連休ありましたが、私は仕事のため、小学校4年生になった息子は自宅で祖母と一緒に過ごしていました。

そんな中、こどもの日が公休でしたので、近くの川に鯉のぼりが飾られたため、見に行ってきました。天気も良く、屋台も出ており、息子も大変喜んでいました。

小学校4年生ともなると、普段はテレビゲームに夢中でなかなか一緒に出かける機会も少ないため、とても良い機会となりました。

高橋 友里恵



職員コラム

～ 私の楽しみ ～

私の近年の楽しみは、ママ友の親友と、年に一度、旅行に行くことです。

お互いがやっと子育てを終了し、西日本と東日本とで遠距離ではありますが、機会を見つけて合流し、ゆっくりのんびりと楽しい旅をしています。コロナ禍で長い期間中断をしていましたが、今年度から再開できそうで、ただいま計画の真っ最中です。

腹の癒し、目の癒し、心の癒しを叶えてくれるそんな旅。何より旅に行かせてくれる家族にも感謝しています。

稲毛 賀津子



令和4年度 事業報告

法人の経営

- 理事会の開催 令和4年6月・9月・12月、令和5年3月
- 評議員会の開催 令和4年6月・12月、令和5年3月

障害者支援施設の運営

「袖ヶ浦学園」の運営

- ① 施設入所支援事業(定員:50名)
- ② 生活介護事業(定員:60名)
- ③ 短期入所事業(定員:5名)

入所者の状況

年齢別

(令和5年3月31日現在)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0人	6人	7人	11人	11人	2人	0人	37人
女性	0人	1人	0人	7人	2人	1人	2人	13人
合計	0人	7人	7人	18人	13人	3人	2人	50人

障害支援区分

(令和5年3月31日現在)

	1	2	3	4	5	6	計
男性	0人	0人	0人	4人	10人	23人	37人
女性	0人	0人	0人	1人	4人	8人	13人
合計	0人	0人	0人	5人	14人	31人	50人

※平均障害支援区分は5.52。

年間実施行事

誕生日会、お寿司パーティー、クリスマス会、食事会他

職員研修状況

施設内研修…作業療法 2 回、音楽療法 8 回、サポーターズカレッジ(Web 研修)

施設外研修(オンライン含む)…全職員対象 41 項目

事故・ヒヤリハット報告

怪我等発見報告…151 件、ヒヤリハット報告…61 件、事故報告…25 件(うち、千葉県および市区町村に提出したもの…8 件)

相談支援事業の運営

「相談支援センター 晴」の運営

- ① 指定特定相談支援事業(相談支援事業、障害児相談支援事業)
- ② 指定一般相談支援事業(地域移行支援事業、地域定着支援事業)

共同生活援助事業の運営

「グループホーム 絆」の運営

- ① 共同生活援助事業(定員:7 人)
- ② 短期入所事業(定員:2 人)

入所者の状況

- ① 年齢別 40代 3人 50代 3人 計6人
- ② 障害支援区分 区分3:1人、区分5:3人、区分6:2人 計6人 ※平均障害支援区分は5.00。
*いずれも男性のみ、令和5年3月31日現在

新入職員の紹介

袖ヶ浦学園

ながた さちこ
長田 幸子 看護職員



4月1日に入職いたしました。
利用者様の健康寿命を延ばす取り組み
やサポートに取り組んで参ります。

日々の生活習慣や行動から結果が出る
こと、積み重ねの大事さを肌身で感じます。
『最高の贅沢は健康』をモットーに頑張ります。

ご寄附の御礼



日産化学株式会社袖ヶ浦工場様、日本磷酸株式会社様および労働組合様から、グループホーム
絆に非常用倉庫のご寄附をいただきました。

非常用発電機や非常食など、いつ起こりうるかわ
からない災害の際に、利用者様の生活が守られる
ように備えていきます。

ありがとうございました。

【編集後記】

今年も梅雨の時期がやってきました。皆さまは「気象病」という病をご存知でしょうか。天気の変化によって、心身の不調が引き起こされます。

私も通院こそしておりませんが、天候の移り変わりに不調を感じることもあります。梅雨のジメジメ、夏の暑さ対策として、自宅のエアコン掃除を頑張ります。自己責任のもと分解し、徹底的に洗いたいと思います。

吉田 将人

[広報担当職員] 吉田(美)・笹生・吉田(将)

社会福祉法人いずみ会

〒299-0205 千葉県袖ヶ浦市上泉 1767-21 URL: <http://izumi-kai.com>

障害者支援施設 袖ヶ浦学園 ☎0438-75-4585 ✉izumikai@vanilla.ocn.ne.jp

相談支援センター 晴(ハル) ☎0438-97-5118 ✉haru-soudan@kind.ocn.ne.jp

〒299-0236 千葉県袖ヶ浦市横田字北上堰 124-1

グループホーム 絆(キズナ) ☎0438-97-7815 ✉kizuna7815@orion.ocn.ne.jp



@sodegaku